幹事、相馬松次郎、山本龍二　三氏を、
中央委員に推薦　可決、
四、講演班、巡回の件、　可決、
五、聯合會議出席旅費に就ての件、
本務規則第廿七条第九項　可決確定
六、閉會、午后五時十分、

第三日は、前日に比して尚未信して險惡な空氣が議場に漲りました、議席に連なる、闘士の顔には、疲勞と不安とがゴッチャになって、緊張して居た、それは暴風来を予感するかの如く、果せる哉午后雑件審議中に於て今日代表菱川君から中央委員及幹事は各支部との連絡を執って、責任なしと云ふ不信任を、意味した、動議が提出した、傍聴者は、やれやれと陣をかける、記者席からは内訌暴露なぞ、弥次を飛ばす、工作全代表は本部の下に反対意見が乗り採決の結果否決となって、中央委員各々の顔には、悲痛の色がほの見へた、

三日間にわたる概況

三日間に渉る此の會議を批評するならば少なくも感情に支配せられ居た事は争ふ事は出来ない事実であったと思ふ、此の會議に於ける注目をひいたものは、労働代表歓問題に関する件だ、